

KSTNET WEB版 2006年2月号

1. 会長からのメッセージ

熊本県言語聴覚士会会長 小菌真知子

新年度へ向けて

平成17年度も残り僅かとなりました。会員の皆様には、来年度へ向けてあわただしい日々をお過ごしのことと思います。

本年度は、日本言語聴覚士協会都道府県士会協議会への加入をはじめ、第4回九州地区言語聴覚士会合同学術集会、第5回介護保険フォーラム開催とめまぐるしい対外事業が続きました。理事をはじめ、ブロック長、学術研修部員、会員一人一人のご協力が無事に終了することができ心より感謝申し上げます。

全国の言語聴覚士協会との連携について申し上げますと、協会は、深浦会長のもと、一般社会で言語聴覚士が一人前の職種として認められるための最低条件である協会の法人化へ向けて動き出しています（協会のホームページをご覧ください）。日々の臨床の中では、対社会的なものはあまり関係ないように感じられるかもしれませんが、昨年末の介護フォーラムでとったアンケートでは、介護保険利用者や家族の方々にS Tを知っているのは32.4%という数字が示されています。言語聴覚士を知らない人が圧倒的に多い世の中で、私たちを必要としている人たちに適切なサービスを提供するためには日本の言語聴覚士が協力していくことが不可欠です。

また、本年1月に東京で開催された「生涯学習基礎講座の講師養成講座」に、宮本理事と小菌が参加してきました。これまで、講師不足やいろいろの条件から、開催の場所と期日が限られていたのですが、18年度から地方での開催を増やすよう計画されています。九州では、大分である九州地区言語聴覚士会合同学術集会の前日（2006年10月28日）に基礎講座2講座が計画されていますので、ぜひ受講してください。

最後に、2月末に介護保険改定に伴う熊本市の介護認定審査員研修会に参加してきました。今年度より、熊本市の介護認定審査会に言語聴覚士の枠を1名分いただき、1年間間認定に関わってきましたがS Tとして関わることの重要性を実感しております。ぜひ一度、介護保険に関する研修会も開きたいと思いますが、とくに私たちが関わるのは、認知度の判定意見です。失語症は、認知症とは異なる種類の障害ですが、介護保険の認定の仕組みの中で失語症の方々が社会生活を営む上で障害になる点を査定してもらうには、この認知度に反映させるしかありません。ここでは紙面が足りませんので、詳細は介護保険関係の資料を読んでぜひ勉強してください。各市町村が出している住民向けの介護保険改定の資料にも目を通しておきましょう。

4月には、新人のS Tをたくさん迎えます。熊本県の言語聴覚療法の質の向上を目指して今後も県士会を挙げて努力していきたいと思います。各会員も協会の会報やホームページで情報を収集しながら、当会へのご意見、ご協力をお願いいたします。

2. 各ブロック報告

[中部ブロック]

中部ブロック会 活動報告

次回開催 中部ブロック会 新年会

平成18年2月4日（土）に新年会を行いました。今年度の活動報告と次年度の活動計画を確認し、中部ブロック会の活動をより充実したものにしたいと考えております。今回参加された先生方の熱い思いや考えを共有し、平成18年度の活動の糧にしたいと考えております。

<H18年度 中部ブロック会予定>

開催月	開催施設	内容
3月(H17年度)	東野病院	施設見学・勉強会
5月	託麻台病院	勉強会・定例会
7月	江津湖療育園	施設見学・勉強会
9月	託麻台病院	勉強会・定例会
11月	熊本第一病院	施設見学・勉強会
1月	ブロック茶話会	次年度計画・新年会
3月	熊本大学病院	施設見学・勉強会

※ 奇数月の第3金曜を定期的開催予定日としています。

※ 各施設の都合上、日程変更される場合もあります。ご了承ください。

[東部ブロック]

東部ブロック ブロック会報告

第3回ブロック勉強会を12月9日（金）に成仁病院にて行いました。

今回はケアセンター赤とんぼの壁村先生に「老健におけるNSTの取り組みについて」と阿蘇温泉病院の成合先生に「VF検査の立ち上げについて」とテーマで発表していただきました。

老健で働くSTはまだ少なく、壁村先生の取り組みは興味深い内容でした。特に歯科による口腔ケアの指導ができるという点は強みであると思いました。

また、VF検査立ち上げについては、検査を行うに当たってのシステム作りについての意見交換ができました。各施設ごとに検査を行う基準や、依頼の流れなどが違いましたが、やはりSTがコーディネーター的な役割を担っているところは共通していると感じました。

第4回は3月10日（金）ひばり園にて行う予定です。難聴児の療育についてひばり園の木庭先生にお話していただきます。

文責：兼田洋美

[西部ブロック]

西部ブロック報告

第5回研究会を1月27日（金）に天草地域医療センターで開催しました。発表は川上美和子先生、演題は「NSTにおける言語聴覚士の役割」でした。出席者7名といつもより少人数でしたが、これからSTがかかわっていかなければならない分野に関する大事な知識が得られたのでは

ないかと思えます。

3月24日(金)にニュー天草病院において本年6回目の研究会を予定しております。ブロック外からの参加も歓迎しておりますので、ふるってご参加ください。

西部ブロック2005年度第6回学習会

日時：3月24日(金)18:40-19:20

場所：ニュー天草病院第一言語聴覚療法室

内容：嚥下関係診療報酬改定内容紹介

文献紹介 藤島一郎著『球麻痺の嚥下障害』

文責 山口信

[南部ブロック]

南部ブロック報告

★第8回南部ブロック勉強会報告★

- ・日時：11月26日(土) 3時～5時
- ・場所：にしくまもと病院
- ・担当：畑野先生 山口先生

今回の勉強会では「くも膜下出血、視床梗塞後にコルサコフ症候群が疑われた症例」「皮質下領域の失語症状」について」の発表がありました。

色々な意見も多く飛び交いととても有意義な勉強会でした。

高次脳障害のある方へのアプローチの難しさについて考えさせられました。

※第9回の勉強会は2月25日(土)に「宇賀岳病院」にて行います。

内容は「排泄障害と強制把握について」です。

他のブロックの方のお運びも心よりお待ちしております。

(@*~@)/~ ε = ε = ε =(^o^)/

文責：おくだに けんじろう (熊本おんじやく病院)

[北部ブロック]

工事中です。

